

2026年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
入学試験問題

(4 枚のうち 1 枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	一般
試験科目	文化人類学		

問題1 以下の英文を熟読し、各問いに答えよ。

(4 枚のうち 3 枚目)

出典: "Anthropology and/as Education" Tim Ingold, Routledge, 2017, pp. 60–63.

- (1) 著者の participant observation の定義について記述せよ。
- (2) 著者は participation と observation の対立についてどのように述べているか記述せよ。
- (3) ethnography を education に置き換えるという著者の主張について、その理由を Jackson の主張を参考にしつつ記述せよ。

問題2 以下の設問から3つ選び、それぞれについて文化人類学の観点から論じなさい。

- (1) 「儀礼」と「文化変容」という2つのキーワードを用い、近代化やグローバル化が地域社会における儀礼にどのような影響を及ぼしているか論じなさい。
- (2) 「共食」と「他者理解」というキーワードを用い、食を通じた異文化理解とその課題について論じなさい。
- (3) 「ジェンダー」と「通過儀礼」を用いて、性別の役割や境界が通過儀礼を通してどのように構築・再生産されるかについて論じなさい。
- (4) 「移民」と「差別」をキーワードに、移民に対する文化的ステレオタイプや社会的排除がいかにして生じるかを文化相対主義の観点から論じなさい。
- (5) 「イスラーム」と「多文化共生」をキーワードに、現代社会におけるイスラームの宗教実践が多文化共生に与える課題と可能性について論じなさい。

問題3 文化人類学的な調査における倫理について、書くことの権力・暴力という観点を含めながら論じよ。

2026 年度金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学 選抜区分 一般

科目名 文化人類学

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

問題 1

大学院入学後に必要となる英文読解能力を判定するための出題である。解答者は、逐語訳的な翻訳能力だけでなく、文章の論旨を読み取った上で、自らの言葉でそれを再構成し表現することが求められる。

問題 2

文化人類学の基礎的なトピックについての理解力と、それを表現する能力を問うことを目的としている。解答者は、教科書的な語句の意味の理解のみならず、身の回りの出来事、ニュース、新聞、雑誌・書籍などの事象に結びつけてそれらについて考えて論じる必要がある。

問題 3

文化人類学的研究の基礎となるフィールドワークについての理解を問う出題である。人を対象とする調査に大きく依存する研究であるため、解答者は調査・研究倫理を踏まえた研究活動を求められる。

（3枚のうち 1枚目）

専攻名【 人文学専攻 】 試験科目【 日本史学 】 選抜区分【 一般・外国人・社会人 】

【第一問】以下のテーマについて、答案用紙一枚を用いて論述しなさい。

古代日本における貢納制と律令租税制との関係

【第二問】次の史料Ⅰ～Ⅲの中から二題を選択し、それぞれの内容の概要を示し、日本史研究上の意義を述べなさい。その際、一題につき答案用紙一枚を使用すること。なお、出題の趣旨に鑑みて、個々の設問の出典は記載していない。

I

II

2026年度 金沢大学大学院人間社会環境研究科 (博士前期課程)
入学試験問題

(3枚のうち 2枚目)

専攻名 (人文学専攻)
試験科目 (日本史学)
選抜区分 (一般・外国人・社会人)

III

専攻名【人文学専攻】
試験科目【日本史学】
選抜区分【一般・外国人・社会人】

【第三問】以下に掲げるコピーの古文書を解読しなさい（縦書き、原文通り改行のこと）。

2026 年度 大学院人間社会環境研究科博士前期課程 人文学専攻 一般 日本史学

第二・三問の出典は以下の通り。ただし、出典を明記したことが解答のヒントになる場合があるため、問題用紙には出典を書いていない。

【第二問】の出典

- I 黒板勝美・国史大系編修会編『新訂増補 国史大系 類聚三代格 前篇』（吉川弘文館、1977 年）331 頁 10 行目～332 頁 5 行目
- II 歴史学研究会編『日本史史料 [3] 近世』（岩波書店、2006 年）290 頁上段 3 行目～15 行目
- III 内閣官報局『法令全書』（博聞社、1873 年）403 頁 3 行目～404 頁 11 行目

【第三問】

山本博文・堀新・曾根勇二編『織田信長の古文書』（柏書房、2016 年）127 頁

2026 年度金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学 選抜区分 一般

科目名 日本史学

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

【第一問】

古代史の重要テーマについて研究史の現状と課題をふまえ、自らの研究課題を設定する力を問うのが出題のねらいである。

【第二問】

各時代の研究遂行に必要不可欠である史料読解力を有しているかを確認し、かつⅠ平安時代前期の税制と地方支配、Ⅱ近世後期の政治社会と思想、Ⅲ近現代の政治社会についての知見を持ち合わせているかどうかを確認するのが、出題の狙いである。

【第三問】

大学院博士前期課程における研究遂行に必要不可欠な古文書読解力を有しているかを問うのが出題のねらいである。

2025年度10月入学及び2026年度4月入学

金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

入学試験問題

（4枚のうち1枚目）

専攻名【人文学】

】選抜区分【一般・外国人・社会人】

試験科目【東洋史学】

*試験問題には、問題1、問題2および問題3がある。それぞれの指示に注意しながら、問題1～問題3の全
てに解答すること。問題用紙は全部で4枚ある。

*解答用紙は「横書き」で用いること。また、解答の際には、問題ごとに解答用紙を替えて解答すること。

問題1

以下の文章を全て現代日本語に訳しなさい。

2025年度10月入学及び2026年度4月入学

金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

入学試験問題

（4枚のうち2枚目）

専攻名【人文学】

試験科目【東洋史学】

【選抜区分【一般・外国人・社会人】】

問題2

以下の史料は、『塩鉄論』結和篇の一部である。この史料の本文部分のうち、四角で囲んだ部分を現代日本語に訳しなさい。

なお翻訳にあたっては、後掲の注釈・補注も参照し、前後の文意の繋がりや論理展開が明らかになるよう留意すること。

『塩鉄論』結和第四十八

（3枚目くつづく）

2025年度10月入学及び2026年度4月入学

金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

入学試験問題

（4枚のうち3枚目）

専攻名【人文学】

試験科目【東洋史学】

】選抜区分【一般・外国人・社会人】

問題2つづき

【注釈】

（4枚目くつぎ）

2025年度10月入学及び2026年度4月入学

金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

入学試験問題

（4枚のうち4枚目）

専攻名【人文学】

】選抜区分【一般・外国人・社会人】

試験科目【東洋史学】

問題2 つづき

【補注】造父：西周の穆王に仕えたという優れた御者。戦国時代の趙の祖先。穆王の西方巡狩の馬車を御し、西王母に会ったという。

【王利器校注『塩鉄論校注（定本）』下冊（中華書局、一九九二年）四七九頁五行目～四八〇頁十一行目、および四八二頁十七行目～四八五頁三行目。】

問題3

以下の語句のうちから5つを選び、その内容や歴史的意義などについて、現代日本語もしくは現代中国語で説明しなさい。

張士誠 通典 内閣大学士 太常寺 武周革命
姓族分定 尹灣漢簡 (中華民国の)京兆地方
二十四史 東林書院 寧波 讖緯説

以上

2026 年度金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学 選抜区分 一般・外国人・社会人

科目名 東洋史学

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

〈出題意図〉

問題 1

修士論文の執筆に不可欠な関連知識の確認に加え、現代中国語に関する素養、特に論文の読解力を問うものである。

問題 2

修士論文の執筆に不可欠な関連知識の確認に加え、関連する史料の理解力など、その史料を正確に解釈できる能力を多面的に問うものである。

問題 3

修士論文の執筆に不可欠な、東洋史学に関する基礎的知識を幅広く会得しているかどうかを問うものである。

2025 年度 10 月入学 金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学 選抜区分 一般・外国人・社会人

科目名 東洋史学

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

〈出題意図〉

問題 1

修士論文の執筆に不可欠な関連知識の確認に加え、
学術論文の読解力と日本語の表現力を問うものである。

問題 2

修士論文の執筆に不可欠な関連知識の確認に加え、関連する史料の理解力など、
その史料を正確に解釈できる能力を多面的に問うものである。

問題 3

修士論文の執筆に不可欠な、東洋史学に関する基礎的知識を幅広く会得しているか
どうかを問うものである。

2026年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
入学試験問題

(3枚のうち 1枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	考古学		

問題1 次の英文を読んで、(1), (2)の問いに答えなさい。

(出典: Kristian Kristiansen, "Theorising Diffusion and Population Movements", in Colin Renfrew and Paul Bahn (eds.), *Archaeology: The Key Concepts*, pp. 75-79. Routledge, 2005. 75 頁 7 行目~30 行目)

- (1) 英文をすべて和訳しなさい。ただし、カッコ内は無視してよい。
- (2) 英文 18 行目に言及されている "processual archaeology" と "post-processual archaeology" のそれぞれを代表する研究者について 1 名ずつあげ、その具体的な事績を 1 つずつ述べなさい。

2026年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
入学試験問題

(3枚のうち 2枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	考古学		

問題2 次の文章を読んで、(1)~(4)の問いに答えなさい。

日本の考古学は、1877年に〔イ〕が行なった大森貝塚の発掘調査によって幕が開かれたといわれる。現在、国内では年間およそ9千件もの遺跡の発掘調査が行われているが、そのうちのほとんどは記録保存を目的とした調査である。これらの調査は、〔a〕法に基づいて実施されている。

人類が日本列島に棲み始めたのは、遅くとも後期旧石器時代にあたる3万8千~3万6千年前まで遡る。列島で初めてみつかった旧石器時代の遺跡は群馬県の〔あ〕遺跡であり、アマチュア考古学者であった〔ロ〕の功績による。

列島の人びとは紀元前1万3千年ごろに〔b〕をつくり始め、やがて〔c〕住居を建て、ムラで定住する生活に移った。この時代を〔い〕時代という。定住しながらも、主な食料供給の手段は〔d〕に変わることなく、〔e〕のままであったが、そのような生活様式が可能であった理由の一つには、日本列島に特有な食料資源のありかたがあげられる。〔い〕時代の前期は気候が非常に温暖で、〔い〕海進と呼ばれる現象が起きたため、現在の内陸部に多くの〔う〕が残された。

続く〔え〕時代が始まる年代は、かつて紀元前5世紀半ばといわれていたが、近年では〔f〕年代の新しい測定結果にもとづき、紀元前10世紀半ばとする説が提示されている。〔f〕年代測定法は、シカゴ大学の〔ハ〕により絶対年代を推定できる面期的な方法として開発されたが、1959年に日本考古学に初めて導入された折にも論争を巻き起こした。戦前から当時まで、〔い〕時代の編年研究を牽引していた〔ニ〕は、その開始年代を紀元前2500年ごろと見積もっていたからである。〔え〕時代には、大陸から〔g〕の栽培技術が導入され、列島の広い範囲で主な食料供給の手段が〔e〕から〔d〕に変わった。ムラどうしは結びつきを強めてクニとなり、クニの首長は大きな墳丘墓に葬られることもあった。

中国の歴史書によると、〔え〕時代の後期に列島内で勃発したクニどうしの武力闘争を収めるため、諸国が倭国の王として〔ホ〕を共立したらしい。〔ホ〕の墓との説もある箸墓古墳は、大型の〔h〕としては最古のものである。〔h〕はすぐに近畿から瀬戸内地方にかけて共通する墓制となり、時代は古墳時代へと移る。この時代、地方の首長は豪族居館に住み、専門の工人が窯で焼いてつくる須恵器などを使っていたが、庶民は〔c〕住居で暮らし、日用のやきものとしては、須恵器よりも〔b〕の一種である〔i〕の方が一般的であった。

なお、〔え〕時代以降、日本列島の北端と南端では独自の歴史的展開が知られている。いわゆる本土の〔え〕時代や古墳時代と同じ時期、北海道には〔い〕文化の生活様式を継承した続〔い〕文化がみられる。そして、同じころから北海道の北海岸以北に広がった〔j〕文化は、7世紀ごろから北海道を中心に栄えた〔お〕文化とともに、鎌倉時代後半まで続いた。また、沖縄では本土の〔い〕時代から平安時代にあたる時代を〔う〕文化期と呼ぶ。

2026年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
入学試験問題

(3枚のうち 3枚目)

専攻名	人文学	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	考古学		

- (1) 文章中 1 行目にある、「考古学」という学問分野の定義を簡潔に述べなさい
- (2) 文章中の〔イ〕～〔ホ〕にあてはまる人物の名前をそれぞれ記しなさい。
- (3) 文章中の〔あ〕～〔お〕にあてはまる言葉をそれぞれ漢字 2 文字で記しなさい。
- (4) 文章中の〔a〕～〔j〕のそれぞれにあてはまる言葉を次の中から選んで記しなさい。

アイヌ	始良	遺失物	遺跡台帳	一次産業
移牧	オホーツク	穹窿墓	群集墳	型式
狩猟採集	磁器	水稻	石器	炆器
前方後円墳	相対	高床式	竪穴	千島・樺太
土器	年輪	農耕	土師器	馬鈴薯
文化財保護	方形周溝墓	放射性炭素	陸稲	類須恵器

問題3 次にあげる(1), (2)の用語について、それぞれ簡潔に説明しなさい。

- (1) ムセイオン
- (2) 動作連鎖

問題4 災害と考古学との関係性について論じなさい。

2026 年度金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学 選抜区分 一般・外国人・社会人

科目名 考古学

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

問題 1

(1) 考古学に関する英文の読解力を問う問題。

伝播はある文化から別の文化へのモノの特徴の移動を説明する概念である。その過程では、受け入れ側の文化に変化をもたらされることがある。また、19 世紀後葉から 1950 年代にかけて、伝播は文化や文明の世界的な拡大を説明する概念としても用いられた。それは、考古学的文化を人びとや民族集団と同一視し、変化は文明の中心からの伝播の過程の結果であると考え、「文化史的」解釈の枠組みと結びついていた。

たびたび、移住（人口移動）は変化の原動力であると考えられていた。ゴードン・チャイルドは、とりわけ彼の主要な著作『ヨーロッパ文明の黎明』において、進化主義的な視点も適用しているものの、このような見解を広めた人物としてしばしば言及される。1960 年代以降、この文化史的研究の伝統は、社会的・経済的・文化的な変化の内的要因を優先する新しい理論的枠組みに取って代わられた。この新しい解釈の枠組みは、プロセス考古学とポスト・プロセス考古学と呼ばれ、今日までの主流を占める。その結果、地域や地方を越えた伝播や歴史的变化は、前世代ではほとんど無視されてきた。したがって、現代考古学の理論的および解釈的レパートリーに、伝播と移住／人口移動を追加することは時宜を得ている。成熟した考古学は、結局のところ、あらゆる種類の歴史的变化に対処できるべきである。

(2) 考古学理論の学史に関する基礎知識を問う問題。

プロセス考古学 (processual archaeology) を代表する研究者に「中範囲理論」の提唱者ルイス・ビンフォードや『分析的考古学』(Analytical Archaeology) の著者デヴィッド・クラーク、ポスト・プロセス考古学 (post-processual archaeology) を代表する研究者に『過去を読む』(Reading the Past) などの理論的著作で知られ、トルコの新石器時代遺跡チャタルホユックの調査を指揮したイアン・ホッターなど。

問題 2

考古学、特に日本考古学の基礎知識を問う問題。

- (1) 考古学とは、物的証拠からヒトの過去を研究する学問分野である。
- (2) (イ) エドワード・モース (ロ) 相沢忠洋 (ハ) ウィラード・リビー (ニ) 山内清男
(ホ) 卑弥呼
- (3) (あ) 岩宿 (い) 縄文 (う) 貝塚 (え) 弥生 (お) 擦文
- (4) (a) 文化財保護 (b) 土器 (c) 竪穴 (d) 農耕 (e) 狩猟採集 (f) 放射性炭素
(g) 水稲 (h) 前方後円墳 (i) 土師器 (j) オホーツク

問題 3

世界考古学の基礎知識を問う問題。

- (1) ムセイオンは、もともと古代ギリシアで信仰された学芸・芸術の神であるムーサイの祠堂であったが、ヘレニズム時代には学堂として発展した施設。特に、プトレマイオス 1 世がエジプトのアレクサンドリアに設立したものが歴史上著名である。
- (2) 動作連鎖とは、アンドレ・ルロワ＝グーランが提唱したシェーン・オペラトワール (chaînes opératoires) の訳語で、所与の行動を構成する一連の動作ないし行為のこと。そうした動作の連続・組み合わせの仕組みに社会的・文化的背景が反映されると考えられる。

問題 4

社会と考古学との関係、社会における考古学の位置に対する、意識の高さや理解の深さを問う問題。

2025年度10月入学及び2026年度4月入学

金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

入学試験問題

（2枚のうち 1枚目）

専攻名【日本語学・日本文学】選抜区分【一般・外国人・社会人】

試験科目【日本近代文学】

問題一 次の文章は三島由紀夫「潮騒」の冒頭部です。これを読んで、その特質について内容面、文体面、語りの面などを多角的にとらえ、論述しなさい。

2025年度10月入学及び2026年度4月入学

金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

入学試験問題

（2枚のうち 2枚目）

専攻名【日本語学・日本文学】選抜区分【一般・外国人・社会人】

試験科目【日本近代文学】

（三島由紀夫『三島由紀夫全集』第4巻、

新潮社、二〇〇二年、二三五ページ～二行目～二七ページ～二行目）

問題二 次の文章にある「外在的アプローチ」について、日本近現代文学研究ではどのようなアプローチがありえるか。具体例を挙げながら説明しなさい。

（廣野由美子『批評理論入門』、中公新書、二〇〇五年、1ページ～八行目）

2026年度金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学 選抜区分 一般・外国人・社会人

科目名 日本文学・日本近代文学

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

(出題意図)

問題一

日本近現代文学研究に必要なテキスト分析および論述の能力をどの程度修得しているかを問う。

問題二

日本近現代文学研究の基本的な方法論をどの程度修得しているかを問う。

2026年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第1期募集 入学試験問題

(9 枚のうち 1 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	公認心理師養成プログラム		

問題1～4について指示に従って回答してください。なお、解答用紙には問題の順番に回答を行い、どの問に対する解答かわかるように記述してください。

【問題1】以下の4つの学術論文のAbstractを読み、問いに答えなさい。

A.

《出典》Horváth, Z., Román, N., Elekes, Z., Griffiths, M. D., Demetrovics, Z., Urbán, R. (2020).

Alcohol consumption and risk for feeding and eating disorders in adolescence: The mediating role of drinking motives, Addictive Behaviors, Volume 107

2026年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第1期募集 入学試験問題

(9 枚のうち 2 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	公認心理師養成プログラム		

B.

《出典》 Hirvelä, L., Keski-Rahkonen, A., & Sipilä, P. N. (2023). Associations of broad eating disorder symptoms with later alcohol problems in Finnish adult twins: A nationwide 10-year follow-up. *International Journal of Eating Disorders*, 56(10), 1854–1865.

2026年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第1期募集 入学試験問題

(9 枚のうち 3 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	公認心理師養成プログラム		

C.

《出典》McHugh, R. K., Weiss, R.D. (2019). Alcohol Use Disorder and Depressive Disorders. Alcohol Res. 1;40(1): arcr.v40.1.01.

D.

2026年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第1期募集 入学試験問題

(9 枚のうち 4 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	公認心理師養成プログラム		

《出典》Hirvelä, L., Sipilä, P.N. & Keski-Rahkonen, A. (2022). Relationship between sensation seeking, alcohol problems and bulimic symptoms: a community-based, longitudinal study. *Eat Weight Disord* 27, 589–595

問1 各Abstractの内容を踏まえたうえで、心理師として、食行動の異常(摂食障害の症状)を主訴とするクライアント/患者に対して、インタビュー面接において収集すべき情報も含め、どのような心理的支援を展開すべきか。具体的かつ実践的に論じなさい。なお、解答にあたっては、既知の臨床心理学の知識を活かしても構わない。

問2 各論文の内容および限界点を踏まえたうえで、あなたがscientist-practitioner modelを実践する臨床家として研究を行う場合、どのような研究をなすべきと考えるか。その研究についての計画書を作成しなさい。その際、可能な限り、具体的に記述すること。なお、解答にあたっては、既知の臨床心理学の知識を活かしても構わない。

2026年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第1期募集 入学試験問題

(9 枚のうち 5 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	公認心理師養成プログラム		

【問題2】 以下の文章にある空欄に適切と思われる語句または数字を答えよ。なお、⑥については範囲を回答すること。

- 実験において、実験参加者だけではなく、実験を実施する実験者側も、どの参加者がどの条件に分けられているについての情報を知らされずに実験を行うことにより、観察者バイアスを排除する方法を①と呼ぶ。
- 知的機能の評価法には比率IQと②の2つがある。平均値(通常、100)と標準偏差(通常、③)があらかじめ設定されている②では、IQが85の場合、そのパーセンタイル順位はおおよそ④になる。
- 身体症状、認知的な側面における症状を伴う、強い不快感、不安、または恐怖が、突如、短時間の間に発現する障害を⑤と呼ぶ。また、⑤と併存しやすい障害に⑥がある。
- 高齢者への虐待の種類について、心理的虐待、身体的虐待、性的虐待、ネグレクト、そして、⑦がある。
- WAIS-IVにおいて、言語理解指標と知覚推理指標の合算で得られる指標は⑧である。
- C. Rogersは「パーソナリティの変化に必要な条件」の一つとして、「セラピストはクライアントの⑨を共感的に理解しており、その経験を⑩」ことが重要と述べている。
- ⑪は、認知心理学的な観点より道徳性の発達について、3つのレベルと6つの段階に関する理論を提唱した。
- カウンセリング中に、セラピストが自らの認知できていない感情の影響を受け、専門的な態度等を維持できなくなる現象を⑫という。
- DSM-5-TRにおいて、法律を軽視する行動を繰り返したり、嘘をついたり、自己の利益や楽しみのために他人の権利を無視し、操ったりするような行動をとるとった基準に基づき診断される障害を⑬という。⑬の診断は⑭歳以上になされる。⑭歳未満の場合、他者の権利を侵害し、年齢相応の社会規範や規則を繰り返し無視する行動を特徴が6ヶ月以上持続すると⑮という診断がなされる。

2026年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第1期募集 入学試験問題

(9 枚のうち 6 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	公認心理師養成プログラム		

【問題3】以下の事例問題に答えなさい。

Aさん(高校1年生、女子)が、母親と共に知能検査の受検を求めて、私設の心理センターに来所した。インテーク時、以下のような知能検査の受検目的(主訴)を語った。

Aさん:「兄弟が知的発達症を持っているので、自分にも何かしらの障害があるのではないかと、受検を希望した」

母親:「(Aさんは)よく友達とぶつかってしまうことがある。知能検査を受けて本人の得意・不得意の傾向が分かり、生きづらさを軽減する方法を知ってくれればと思い、本人に勧めた」

担当心理師がAさん本人と母親に対してインフォームドコンセントを行ったうえで、WISC-Vを実施した。WISC-Vの結果(抜粋)は以下である。

全検査 IQ(FSIQ) = 82 (78-88)

【主要指標】

言語理解指標(VCI) = 91(85-100), 視空間指標(VSI) = 88(82-97), 流動性推理指標(FRI) = 78(73-86), ワーキングメモリー指標(WMI) = 97(91-104), 処理速度指標(PSI) = 106(97-113)

※括弧内の数値は90%信頼区間を示す。

【下位検査の得点】

積木 = 7, 類似 = 7, 行列 = 6, 数唱 = 9 (順唱 = 9, 逆唱 = 8, 数整列 = 11), 符号 = 9, 単語 = 10, バランス = 7, パズル = 9, 絵のспан = 10, 記号 = 13, 絵の概念 = 5, 理解 = 7, 算数 = 9

※記号および符号では誤答はなし

【対比較等】

FRI < MIS ($p < .01$, 標準出現率 5-10%), PSI > MIS ($p < .05$, 標準出現率 5-10%)

※MIS:平均主要指標得点

2026年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第1期募集 入学試験問題

(9 枚のうち 7 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	<input type="checkbox"/> 一般 ・ 外国人 ・ 社会人
試験科目	公認心理師養成プログラム		

問1

WISC-Vの検査結果を踏まえて、Aさんの認知的特徴について述べなさい。その際、支援的観点を踏まえ、Aさんおよび母親の主訴に対する心理師としてのレスポンスとなるよう留意しながら、具体的かつ実践的に記述しなさい。

問2

Aさんと母親に対して本検査結果のフィードバックを行った。フィードバックの中ほどで、Aさんが突然語り始めた。Aさんは、最近、高校の先生の推薦で特進クラスに移ったものの、学業成績は向上せず、学習理解が思うように進まないことを訴えた。さらに、「私、将来、数学の先生になりたいんです。なれますか？どんな勉強方法が、私には合っていますか？」と、担当心理師に語った。

あなたが本担当心理師であると想定し、Aさんへの対応を具体的かつ実践的に記述しなさい。その際、Aさんに伝える内容の科学的合理性を必ず明示すること。

2026年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第1期募集 入学試験問題

(9 枚のうち 8 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	公認心理師養成プログラム		

【問題4】 以下は、自閉スペクトラム症児の自伝的記憶の特徴について検証した研究である。英文を読んで研究法の問題に答えなさい。

2026年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)
第1期募集 入学試験問題

(9 枚のうち 9 枚目)

専攻名	人文学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	公認心理師養成プログラム		

《出典》Goddard, L., Dritschel, B., Robinson, S., & Howlin, P. (2014). Development of autobiographical memory in children with autism spectrum disorders: Deficits, gains, and predictors of performance. *Development and psychopathology*, 26(1), 215-228.

問1

この研究の参加者の具体的な特徴について、**participants** の部分を訳し、説明しなさい。

問2

下線(1)の基準の対象者を参加者としたことについて、どのような理由が考えられるかを書きなさい。

問3

下線(2)の基準の対象者を参加者としたことについて、どのような理由が考えられるかを書きなさい。

2026 年度金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 人文学専攻 選抜区分 一般・外国人・社会人

科目名 公認心理師養成プログラム

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

問題 1 出題意図

研究や臨床に必要な知見（情報）を探す際には、「論文全体をじっくり読む」のではなく、Abstract から必要な情報を素早く読み取る力が求められる。本問題の目的の一つは、受験生がそのような情報処理能力を備えているかを評価することである。加えて、限られた情報から既存の知識を活用し、新たな論理を構築する力は、研究者のみならず臨床家にも必要とされるスキルである。このスキルの有無を評価することも、本問題の目的の一端をなしている。

問題 2 解答

①二重盲検法, ②偏差 IQ, ③15, ④16, ⑤パニック障害, ⑥広場恐怖, ⑦経済的虐待, ⑧一般知的能力指標 (GAI), ⑨内的照合枠, ⑩クライアントに伝えようと努める, ⑪コールバーグ (Lawrence Kohlberg), ⑫逆転位, ⑬反社会性パーソナリティ障害, ⑭18, ⑮素行症

問題 3 出題意図

公認心理師の主要な業務の一つに、心理的アセスメントの実施がある。なかでも、児童生徒を対象とした心理的アセスメントにおいて中心的な役割を果たすのが知能検査である。現在、国内で最も広く用いられている知能検査は、ウェクスラー式知能検査 (WISC) であり、その最新版である WISC-V は、教育や医療、福祉などの多様な現場で活用されている。本問題は、WISC-V に関する基本的な知識やその活用に関する理解を測ることを目的としており、公認心理師として必要不可欠な専門知識の習得状況を確認するものである。

問題 4 出題意図

本学の公認心理師養成プログラムでは、「科学者—実践者モデル」を基本とし、臨床心理学的な問題について研究を行い、そのエビデンスに基づき実践ができる公認心理師の養成を目標としている。そのため、本問題は、研究法に関する知識を問う問題である。